

福徳岡ノ場の火山活動解説資料（平成 23 年 1 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に対する警戒が必要です。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火警報（周辺海域警戒）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

19 日に第三管区海上保安本部が実施した上空からの観測によると、火山活動による複数の湧出点からと思われる青白色、乳白色、うぐいす色の変色水が、北東方向側に半径約 500 メートルの扇形状に広がっているのが確認されました。

24 日に海上自衛隊が実施した上空からの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面に火山活動による変色水が確認されました。

28 日に海上自衛隊の協力により実施した上空からの観測では、福徳岡ノ場付近の海域で火山活動によるとみられる白濁、薄茶色の変色水を確認しましたが、浮遊物は確認されませんでした。

福徳岡ノ場ではしばしば変色水や浮遊物が観測されており、2010 年 2 月 3 日には小規模な海底噴火が発生しています。

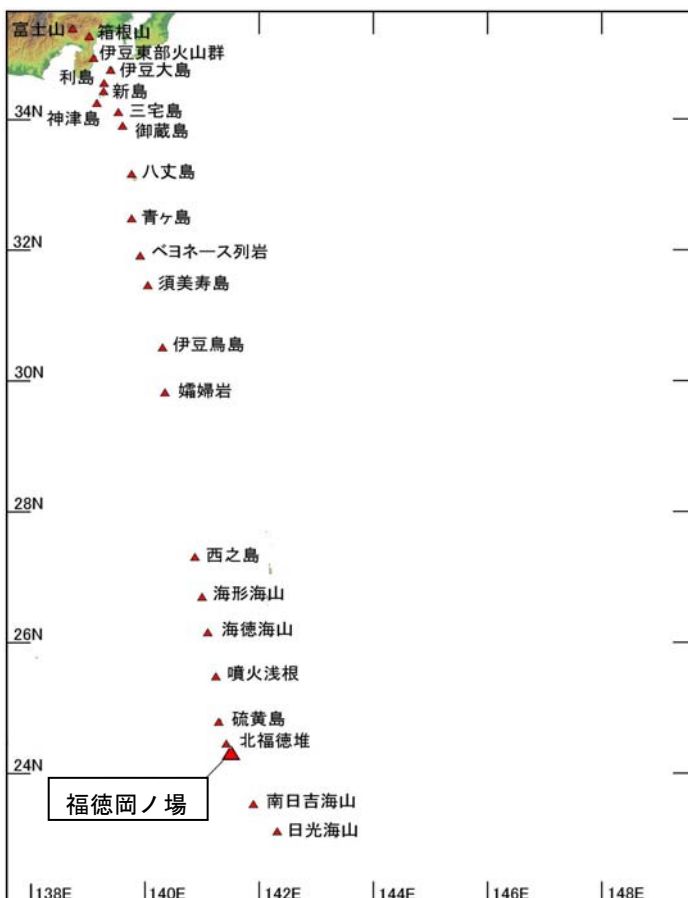


図 1 福徳岡ノ場 伊豆・小笠原諸島の活火山分布と福徳岡ノ場

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 2 月分）は平成 23 年 3 月 8 日に発表する予定です。

※この記号の資料は、海上保安庁、第三管区海上保安本部及び海上自衛隊のデータを利用して作成しています。



写真 1 1 月 19 日撮影
扇状に広がる青白色、乳白色、うぐいす色の変色水

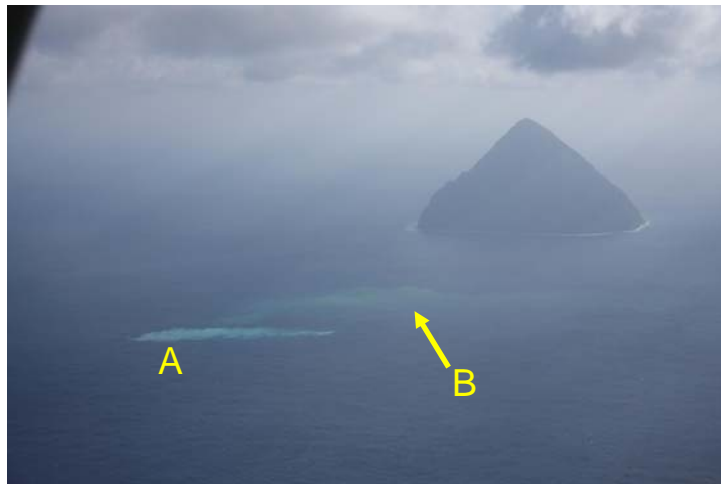


図 2※ 写真 1 : 1 月 19 日 第三管区海上保安本部提供
写真 2～4 : 1 月 28 日 海上自衛隊の協力による